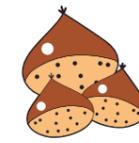




2006 autumn/winter

ハイベック 通信



beautiful elegant cleaning

株式会社サンワード

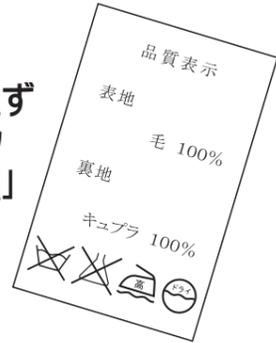
ランニングコスト

ちょっと耳慣れない言葉ですが経済用語に「ランニングコスト」というものがあります。ランニング、すなわち走り続ける、コストは経費。広い意味では、そのものを使い続けるために必要な費用・経費のことを指します。

私達の生活でいうと、車を買うとそれを動かすために、ガソリン代・修理代・税金などの費用が必要になってきます。洗濯機を買えば、電気代や水道代が要りますし、それ無くしては役に立ちません。いくらその製品が安くても、ランニングコストが高ければ、結局は総額が高いものになってしまう。今、家電製品では電気代が30%お徳とかいう宣伝をよく見かけますね。

オシャレ着で考えるとコストのほとんどはお洗濯代ではないでしょうか？クリーニング代を節約している内に汚れをひどくしてしまったり、気に入った洋服なのに、せっかくなクリーニングに出したので着ないでおこうとか、もったいないことになってはいませんか？
着たらすぐ自分で洗うハイベックのお洗濯なら安心です。1本でセーターなら軽く500枚は洗えます。クリーニング代が1枚500円とすると、500枚で25万円もかかってしまいます。しかも自分のものだけ、他人のものと一緒にありません。お気に入りの洋服をタンスに眠らせることなく、好きな時に着て、クリーニング代を気にせず、着たらすぐに自分のものだけでさっと洗う、これがハイベックお洗濯の真骨頂です。

下記項目は、ハイベックのお洗濯で必ず守っていただきたい大事なポイントです。正しくできていれば○、できていなければ×、半分できていれば△をチェックしてみてください。



お洗濯前に必ず「ドライマーク」の表示を確認している。

ブラシ掛けをするときは、汚れている部分にまず「たっぷりお水」を含ませたあと、ドライの原液をのせている。

→いきなり原液はシミになる恐れあり

ブラシ掛けの方向は「一方方向」を守り、素材によってブラシ掛けの方法を変えている。

→麻・テンセル・絹・ポリウレタンはこすらず叩いて処理

洗剤や仕上げ剤は「ボトルごとよく振り」成分を均一にしてから使っている。

あなたの今のお洗濯、何点!?

○は10点、△は5点、×は0点で採点を！
100点満点のあなたは何点!?

→しばらく置いておくと成分が分離しています。上澄みだけ使うのはよくありません。

ハイベック液は「お水」を使い、お湯・ぬるま湯は使用していない。

「つけ込み時間」を守り、その間「押し揉んだり」していない。

→ぬるま湯で洗ってお水ですすぐと温度差が生まれ、縮みの原因になります。つけ込み中に押し揉んだりするのも縮み・型崩れの原因となるので要注意!!



「すすぎは1回」を守っている。

→ドライ溶剤は揮発性が強いので1回で十分。すすぎ過ぎは風合いを悪くするだけです。

干すときは形を整え、直射日光を避け、「陰干し」している。

→紫外線は色褪せの原因になります。



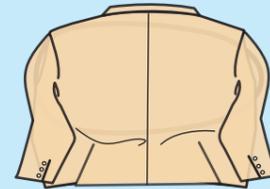
→脱水のし過ぎは脱水じわのもと。仕上げ剤の効果も半減してしまいます。

ざっくりした厚手のセーターは「平干し」にしている。

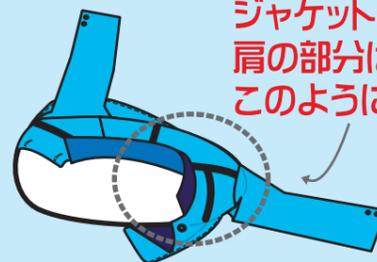
→重いので、そのままハンガーに干すと伸びる恐れあり



身幅が合えば後ろ身ごろはこのようにかぶせてもOK!



ジャケットの肩の部分はこのようにかけて



胸馬本体のクッション部の材質は「ポリエステルウール」です。アスベストは使われておりませんのでご安心下さい。

便利です! アイロングッズ 胸馬編



ズボンの胴回り・スカートは穿かせて

胸馬の丸みが人間の腰、胸、背中、いずれの曲線にもフィットし、立体的にかけられます。胸馬があると、アイロン掛けが楽しくなりますよ!



前身ごろはこのように

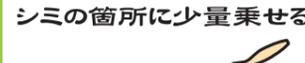
《ハイベック専用ブラシ》

ブラシの使い方

シミがある箇所にたっぷりのお水を含ませる



ハイベックの原液をシミの箇所に少量乗せる



ブラシにお水をつけながら一方方向に擦ったり垂直に叩いたりする

洗う衣類に自立つシミが何箇所もある場合、水に濡れるとシミが判らなくなってしまう。そこでおすすめが「セロハンテープ」濡らす前にシミの上に貼り付け剥がしながらシミ抜きすると見落とすことがないですよ!

ハイベックのお洗濯に欠かせない道具

それが高ハイベックブラシ”
ハイベックブラシは毛の部分で馬の尻尾の毛で出来ています。他の動物の毛に比べてコシがあり、生地も痛めにくいのので衣類のシミ抜きにもつと適しています。

